

TOPIC. 子育てひろばさんさんさん

※プラザ（以下：プ）
※子育てひろばさんさんさん（以下：さ）

プ：設立のきっかけを教えてください。
さ：2007年に佐賀市社会福祉協議会が開催した「地域子育てサポーター養成講座」に参加しました。その講座を受講したメンバーの中で、諸富にある“ふれあい広場”の子育てサポーターのボランティアとして活動し始めたことがきっかけです。“ふれあい広場”で活動しているときに鍋島や大和に住んでいるお母さんたちがはるばる参加していらっしゃるということがわかり、佐賀市の中心部にも“ふれあい広場”のような施設が必要ではないかと思いました。しかし元々専業主婦の集まりですから、活動資金や場所のあてがあるわけでもなかったの、なかなか行動には移れませんでした。ちょうどその時に、まだ市民活動プラザが佐賀駅前前のiスクエアビルにあったところにプラザのスタッフの方から親子交流室の活用についてのお話がありました。それが2008年の12月で、2009年1月の最終週から「さんさんひろば」を開くことになりました。今度の1月で丸10年になります。

プ：活動について教えてください。
さ：子育てひろばさんさんさんの活動としては、毎週火曜日の「さんさんひろば」と、同時に月に1回の子育て講座（「絵本のひろば」「なかよしのひろば」）を開催して、子育てに関することを学び合い、考えあう機会と仲間づくりをしています。さらに2か月に1回発行している「さんさん通信」で、子育て情報やひろばで聞こえるお母さんたちの声を伝えています。



また、年に1回ですが「おひざdeコンサート」といって、0、1、2歳児の親子を対象としたコンサートを開催しています。生の演奏や音楽にふれ、子育て中だからこそ味わえる楽しさと癒しの時間を提供したいと始めました。昨年12月に10回目のコンサートを開催したところです。

プ：「さんさんひろば」に来られる方は、佐賀商エビル（白山）周辺の方が多いですか？

さ：比率からすると多いですが、中にはバスを利用して来られるお母さんもいらっしゃいます。あと、転勤で佐賀に来られて子育てをしている方の参加も多いですね。そういったお母さんは“孤育て”（孤立した子育ての意）に陥りがちですが、積極的に情報を集めて来られる方が多いと思います。「さんさんひろば」で情報交換したり、友達になり、ひろば以外でも連絡を取り合っ

一緒に遊んだり、というお話を聞くこともあります。2、3年するとまた転勤で佐賀を離れるお母さんもいらっしゃいますが、佐賀以外でも親子で集まっているという便りをいただいたりします。転勤や帰省に合わせて自主的に「さんさんひろば in 東京」が開催されています。昨年の夏には2回目が開催されたそうです。

プ：「さんさんひろば」に来られたお母さんに対しては、どのような対応をされていますか？

さ：私たちは居心地のいい場所を提供しているだけで、個人的なことに立ち入らないようにしています。子どものことを中心にお話をし、その中で「夜寝ないのですよ」とか「離乳食が始まって・・・」など、あらたまって相談するほどではないけれど誰かに聞いてほしいような話を共感しながら聴いています。専業主婦として子育てに専念してきた私たちも同じような経験をしてきたからこそ、「そうそう、あるある」と応えてあげられるのですよね。実際、子育てはつらいことや難しいこともありますが、こんないいこともあるよ、楽しいこともあるということも伝えていきたいと思っています。

プ：なるほど、居場所の提供を1番にしているのですね。子育て関連でいえば、近年、子どもの貧困などが注目されていますが、そのことについて、どう思われますか？

さ：現在は継続できていませんが、私たちは子育てひろばさんさんさんとして7、8年前に子どもの貧困やネット社会と子どもについての講演会などを開催したことがあり、子育てに関する様々な問題をとらえて発信はしてきました。今でも、子どもが健全に育つためにはどんな社会がいいのかという問題意識は常にもっています。

プ：最後に一言お願いします。

さ：子育ては未来の社会をつくるための大切な仕事です。子育て中のお父さんやお母さんたちが、子どもがいるからこそ味わえる楽しさや喜びを感じながら、前向きに子育てできる社会の実現を願っています。

編集後記

明けまして、おめでとうございます。
今年の干支は、イノシシですね。日本には干支がありますが、海外にも似たようなものがあるのか、ちょっと調べてみました。主にアジア圏となりますが、十二支に猫が加入している国もあるみたいです。猫年・・・。なんか招き猫が活躍しそうな年ですね。猪突猛進、邁進していきますので、本年も佐賀市市民活動プラザをよろしくお願いいたします。
内藤

佐賀市市民活動プラザ広報誌

2019年1月号

HONOHONO

ホノホノとはハワイの言葉で“ぶらぶら”や“散歩”という意味です。



毎週火曜日、佐賀市民活動プラザフロア内にある親子交流サロンで、子育て世代の居場所づくり“さんさんひろば”の提供活動をしている“子育てひろばさんさんさん”。今回、子育てひろばさんさんさんに、さんさんひろばの活動についてお話を伺いました。

あけましておめでとうございます。本年も、佐賀市市民活動プラザをよろしくお願いいたします！！
1月4日（金）9：00から開館します。スタッフ一同、みなさまのご来館をお待ちしています。

取材記事は、広報誌裏面をご覧ください。

佐賀市市民活動プラザ

開館時間 9時～22時 年末年始以外無休

会議室の利用や掲載内容に関する問い合わせは

佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商エビル7F

TEL：0952-40-2002 FAX：0952-40-2011

ホームページ：https://www.tsunasaga.jp/plaza/

Facebook：https://www.facebook.com/tsunasaga.plaza





プラザからのお知らせ



第2弾「NPO 法人事務カアカデミー」 ～そつなくこなそう NPO 事務～

日時：平成31年1月19日（土）

9：30～17：30※検定時間（試験・解説）を含む

スケジュール

9:30～12:00 事務カアップセミナー（午前の部）

- ・定款・所轄庁の手続き［定款の読み方］
- ・法務局の手続き［法務局手続き・登記事項証明書等］

12:00～13:00 ランチセッション with 講師

※弁当注文希望者は別途、弁当代500円

13:00～15:30 事務カアップセミナー（午後の部）

- ・雇用と給与計算［実務的な労務会計の手続き等］
- ・会計・決算［NPO日頃の会計業務、決算等］

【オプション】

15:45～16:30 事務力検定試験（初級）

※受験希望者は別途、受験料1,000円

17:00～17:30 検定問題解説



講師：加藤 彰子さん（かとう あきこ）
・NPO事務支援センター センター長
（NPO法人岡山NPOセンター）



お申込み
QRコード

市民活動プラザの活動共同スペース・ロッカー・レターケース（利用希望団体募集）

申込期間：平成31年2月1日（金）～平成31年2月28日（木）

○利用期間：平成31年4月1日（月）～翌年3月31日（火）

○利用料※〔 〕内は募集数

○活動共同スペース（約5.6㎡）：団体の事務所（机・イス・ロッカー付）として使えます。
月額5,000円〔6〕

○ロッカー：団体の活動に必要な器材・事務用品等の保管ができます。

- （大）月額500円〔5〕（W900×D420×H1000程度）
- （中）月額300円〔42〕（W450×D420×H1000程度）
- （小）月額200円〔48〕（W450×D420×H520程度）

○レターケース（W260×D340×H80程度）

団体のメンバー同士、団体間の情報交換、郵便物やFAXの受け取りなどに利用できます。

無料（264内利用中のレターケースは継続利用の手続きが必要）

※活動共同スペース、ロッカーは4月末までに1年分の利用料をお支払いいただくと1割引いたします。

○申込方法：市民活動プラザ窓口で配布している申込用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

※利用できる団体には要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

市民活動情報広場

佐賀県BBS連盟 ボランティア会員募集

活動概要

「子どもの心に寄り添う」ボランティア活動をしています。

募集

社会人ボランティア
学生ボランティア

入会資格

30歳未満の方で、心身ともに健康な方、守秘義務を守れる方

会費

年間3,000円（学生2,000円）

問い合わせ先

佐賀県BBS連盟
TEL：0952-24-4291

放課後デイ・サービス プーさん 『キッズボランティア大募集』

日時

毎週土曜日
（年末年始はお休み）
13:00-16:00

活動場所

放課後デイサービス プーさん
（佐賀市鍋島町蛸久320番地5）

内容

身体・知的・精神遅滞の障がいをお持ちのお子様と一緒に工作、外出等の付き添い等

問い合わせ先

放課後等デイサービス プーさん
TEL：0952-37-1016

日本メイスン財団 助成事業 随時募集

助成金

上限なし

対象主体

営利法人、慈善団体で、2年以上の活動実績があるもの

対象活動

福祉、医療、教育、芸術などの分野で、社会的弱者及び障がい児（者）を対象としたもの

応募締切

随時

問い合わせ先

（一財）日本メイスン財団
EL：03-3431-0033

キサブロー トーク&きものライブ ボーダーを超えて自分自身を生きる

日時

1月19日（土）
10:30～12:00

会場

LIFT COFFEE
（佐賀市呉服元町2-18）

出演

キサブロー 氏
定員：40名（先着順）

参加費

100円（リーフレット代）

申込・問い合わせ先

NPO法人 夢の学校
TEL：070-4704-4216

平成31年度 地域の伝統文化助成

助成金

民俗芸能：上限70万円
民俗技術：上限40万円

対象主体

地域の「民俗芸能」及び「民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体

応募締切

1月31日（木）当日消印有効

問い合わせ先

（公財）明治安田クオリティ
オブライフ文化財団
TEL：03-3349-6194

アバンセ映画祭

日時

2月2日（土）
10:00～18:00頃まで

会場

アバンセホール（どん3の森）
（佐賀市天神3丁目2-11）

料金

前売り券 500円
当日券 700円

上映作品

【銀河鉄道の夜】
【長靴をはいた猫】他2作品

申込・問い合わせ先

アバンセ
TEL：0952-26-0011

恵方巻きをつくろう！

日時

2月3日（日）
9:30～14:30

会場

佐賀県ひとり
親家庭サポートセンター
（佐賀市神野東2-6-10
佐賀県駅北館3F）

参加費

無料 ※一時保育あり

申込・問い合わせ先

（一社）佐賀県母子
寡婦福祉連合会
TEL：0952-97-9767

2018年度（後期） アウトドア環境保護基金

助成金

1件あたり10万～50万円

対象主体

明確な行動指針をもち、自然環境保護活動を直接実施するグループ

応募締切

2月15日（金）必着

問い合わせ先

コンサベーション・アライア
ンス・ジャパン事務局
アウトドア環境保護基金係
HPをご確認ください。

第8回 杉浦地域医療振興助成 （活動分野）

助成金

1件あたり上限50万円

対象主体

地域医療従事者等として業務を行っている個人または団体

対象活動

「地域包括ケア」「健康寿命の延伸」の活動に必要なとなる費用

応募締切

2月28日（木）必着

問い合わせ先

（公財）杉浦記念財団
TEL：0562-45-2731